

# 清流と未来を失う前に

2024年

12/7

土

14:00-16:30

会場

熊本草葉町教会

熊本市中央区草葉町1-15

参加費

500円 どなたでもご参加いただけます

## 第1部 映画

### 映画 失われた時の中で

監督・撮影：坂田雅子 2022年/日本/ドキュメンタリー/60分  
写真家の夫の突然死。その理由がベトナム戦争時の枯葉剤と知った妻はカメラを取りベトナムへ向かった！坂田雅子監督による「花はどこへ行った」「沈黙の春を生きて」に続くドキュメンタリー3作目。枯葉剤、そのあとは…？ベトナムの今を追う！



## 第2部 現地報告

### 中村梧郎と行ったベトナムの旅報告 「枯葉剤とドクさん そして川辺川」



#### 板井 八重子さん（医師）

1947年生まれ。熊本大学医学部卒業後、1975年から水俣診療所勤務。1978年から水俣共立病院勤務。女性たちへの膨大な調査により有機水銀汚染による妊娠異常、胎内汚染を明らかにする。詳細は『水俣・胎児との約束』（矢吹紀人著、大月書店）参照。1993～2022年くすのきクリニック院長。水俣裁判、川辺川利水訴訟で勝利した故・板井優弁護士は夫にあたる。

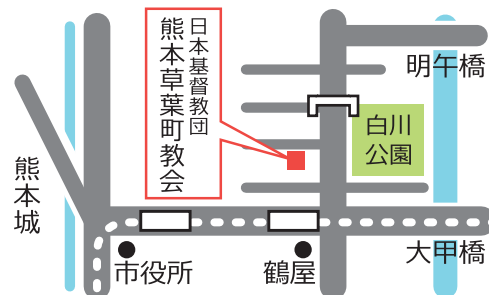
## 原画展示 とお話

絵本『山と川の物語』（著・絵：池永久美子／企画・原案：鮎田一美）の原画展示と、作者である池永久美子さんのお話もあります。

## 主催 問合せ

「失われた時の中で」上映実行委員会  
Tel.096-295-8926(ナガオ)  
Email: kayo.na@athena.ocn.ne.jp

会場ご案内







Long Time Passing

## 時間の経過とともに明らかになる

### 戦争が奪ったものと奪えなかったもの

写真家だった夫・グレッグの突然の死。

その理由がベトナム戦争時の枯葉剤にあるのではと聞かされた妻・坂田雅子は夫の身に起こったことを知りたい一心でカメラを手に取り、ベトナムへ向かった。そこで目にしたのは戦後30年を過ぎてなお、枯葉剤の影響で重い障害を持って生まれてきた子どもたちと、彼らを愛しみ育てる家族の姿だった。

それからおよそ20年。ベトナムはめざましい経済発展を遂げたが、枯葉剤被害者とその家族は取り残されている。今なお、枯葉剤の影響で重い障害を持って生まれる子どもたち。そのケアを担い、家計を支えるために進学を断念せざるを得ないきょうだい。無医村を周り、支援活動続ける医師。アメリカ政府と枯葉剤を製造した企業に対する裁判を起こした元ジャーナリスト。カメラは癒えることのない戦争の傷痕に向き合い続ける人々の姿を記録する。

## 夫の死が与えてくれた新しい生。

### それは絶望の中で見つけたあたたかな希望。

監督の坂田雅子は夫の死後、映像制作を一から学び、これまでに枯葉剤や核をテーマにしたドキュメンタリー映画を発表してきた。カメラを手に世界を旅しながら坂田監督が描いてきたのは、戦争や原発事故など大きな出来事に翻弄されながらも、現実を受け止め、時に抗って生きる人々の姿。

彼らとの出会いの中で「私」の小さな一歩が持つ大きな意味に気づいた坂田監督は2010年にベトナムの枯葉剤被害者支援のために「希望の種」という奨学金制度を設立し、子どもたちの教育を支えてきた。『花はどこへいった』(2007)『沈黙の春を生きて』(2011)に続く、ベトナムの枯葉剤被害をテーマにした坂田雅子監督最新作にして集大成。



#### 「希望の種」奨学金

[masakosakata.com/seed-o-hope](http://masakosakata.com/seed-o-hope)

坂田雅子監督が提唱者となりベトナム枯葉剤被害者の会(VAVA)とともに運営している奨学金制度。枯葉剤被害者で、高校を卒業して大学、あるいは専門学校への進学を希望するも資金がない子どもたちを対象としている。日本全国から寄付を募り、2010年の設立からこれまでに1000万円以上を集め、100人を超える子どもたちを支援している。

公式サイト [masakosakata.com/longtimepassing](http://masakosakata.com/longtimepassing)

twitter [@masakosakata](https://twitter.com/masakosakata)

facebook [fb.com/masakosakata.official](https://fb.com/masakosakata.official)

12/7 土 14:00-16:30

第1部

映画上映(60分)

### 失われた時の中で

第2部

「枯葉剤とドクさん そして川辺川」  
板井 八重子さん(医師)

### 絵本『山と川の物語』

作者 池永 久美子さん

相良村の鮎漁師、鮎田一美さん(2020年に急逝)と川辺川を訪ねる中で、常に言われていた「山や川に接するときには敬意をもって接する必要がある」との思いを受け継ぎ、絵本として出版しました。

原画展示とお話

会場

熊本草葉町教会  
熊本市中央区草葉町1-15